

かよど小だよ

昨日より、もっといい自分 もっといい釜戸小

平成31年1月8日
3学期開始号

瑞浪市立釜戸小学校

新しい年 変化の年

あけましておめでとうございます。

この地方では穏やかな天候に恵まれた年末年始で初詣なども気持ちよくできたのではないのでしょうか。

今年はいよいよ平成が終わり、新しい元号となる歴史的な年となります。視線を地元に移すと、釜戸中学校が閉校され、あらたに瑞浪北中学校が開校されます。これも地元にとっては歴史的な年となります。

平成30年度の3学期がスタートをします。2学期までの成果をさらに向上させ、各学級の学級目標をより確かなものとして学級の仲間同士で行動や姿として示していく時です。

今年度は自分の考えや思いを言葉で伝えること、仲間の思いや考えを最後まできちんと聞き取っていく、そうした力をつけていくことを重点にしています。

3学期は教科の授業や道徳、学活のなかでさらに進んで発言をしたり、仲間の発言に反応したりしながら「話し方、聴き方」を向上させていきましょう。

10日の朝は、中学生が来校し小中合同あいさつ運動を行います。3学期のスタートにふさわしい活動ができます。冬休み中は地域のあいさつリーダーとなっていくことを終業式に話をしました。3学期もまたあいさつの渦を学校から地域へと広がっていきましょう。



▼元旦 気持ちよくスタート



▼終業式後 6年生のボランティア

3学期は新学年につながる「0学期」でもあります。「今よりも少しいい自分」を目指し、学級の仲間と学級目標の達成を目指して、みんなで決めた約束をやりきり、仲間と1年間頑張れたと思えるようにしたいです。

スケート教室

12月18日に恒例のスケート教室を開催しました。今年度はインフルエンザや学校行事等を勘案して2学期末の時期に開催しました。

天候にも恵まれ、午前中はコンディションのよいなかで指導員の方に丁寧な技術指導を行っていただきました。1年生も最初はこわごわでしたが講習が終わる頃にはスケート靴や氷にも慣れることができました。

保護者ボランティアの方も多く参加いただきありがとうございました。



▼1年生もスイスイ

1月の予定

生活目標 : 自分のよいところを伸ばそう

宝の重点 : いつでも読書

日	曜	校内行事・PTA関係行事
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	仕事始め
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	3学期始業式(給食なし) 集団下校 11:40
9	水	5・6年身体測定 釜っ子タイム
10	木	ALT 小中合同挨拶運動
11	金	2・4年身体測定
12	土	
13	日	瑞浪市成人式
14	月	成人の日
15	火	1・3年身体測定 釜っ子タイム 委員会 書き初め展(～18日) 集団下校 15:15
16	水	釜っ子タイム 委員会 1～4年下校 15:00
17	木	ブックトーク(青・ひ) ALT P広報委員会
18	金	ブックトーク(低学年) 5年DIG訓練
19	土	
20	日	
21	月	図書館祭り(～25日) 集団下校 15:15
22	火	クラブ 低学年下校 15:00
23	水	ブックトーク(中学年) 釜っ子タイム
24	木	ブックトーク(高学年) ALT 集団下校 13:15
25	金	幼小中一貫教育推進協議会 P常任委員会
26	土	
27	日	
28	月	掃除講習会 集団下校 15:15
29	火	学校評議員会 委員会 1～4年下校 15:00
30	水	ロング昼休み
31	木	ALT

2月予定

(冬休み前に発行したものから訂正があります)

- 1日 6年生半日入学
- 4日 心の悩みアンケート
集団下校 15:15
- 5日 クラブ 家庭教育週間(～11日)
- 7日 ALT
- 8日 新入生半日入学
- 11日 建国記念の日
- 12日 委員会 1～4年下校 15:00
- 14日 ALT
- 16日 母親委員読み聞かせ 授業参観
学級懇談会 民生委員来校
集団下校 10:35
- 17日 青少年育成市民会議
- 18日 振替休業日
- 19日 最終下校 16:30 変更
- 21日 学校保健安全委員会 ALT
- 22日 釜戸町青少年育成町民会議
- 25日 集団下校 15:15
- 26日 委員会 1～4年下校 15:00
- 28日 ALT

「いつでも読書」

1月の宝の重点は「いつでも読書」となります。

21日から図書館祭りを開催し、図書館の利用や読書をより充実させていく活動が行われます。

市民図書館の方にブックトークもしていただきます。

せっかくの図書館祭りの期間です。家に帰ってからも読書の時間が少し長くとれるとよいです。

12月末の全校の貸し出し冊数は1万8千冊を超し、2万冊も見えてきました。どんどん図書館を利用し本に接していくことが当たり前になることを願っています。